

## ◆若年性認知症

「若年性認知症」とは、65歳未満（18歳～64歳）で発症する認知症です。

認知症というと、高齢者の病気と思われがちですが65歳未満でもかかることがあります。まだ現役で仕事をしている場合が多く、家庭や子育て等も心配になる年代です。認知症を早期発見し、適切に対応するかどうかで、本人と家族の生活が大きく左右されます。

「認知症かもしれない」と思ったら、早めに専門医の診察を受けましょう。認知症の初期症状は、うつ病や更年期障害の症状と似ており、間違えられる場合があります。

認知症は、その原因によっては治療できるもの、薬で進行を遅らせることができるものもあります。早く診断を受けることにより、社会的サービス（介護保険・障害者の認定・医療保険等）を早く利用できます。

### 【若年性認知症チェックリスト】

認知症の初期には、もの忘れがほとんど目立たない場合があります。

このチェックリストで、多くの項目に当てはまる場合、認知症の可能性があります。

#### 《仕事や生活の場面での変化》

- スケジュール管理が適切にできなくなった
- 仕事でミスが目立つようになった
- 複数の作業を同時並行で行えなくなった
- 段取りが悪くなり、作業効率が低下した
- 取引先との約束を忘れる等、物忘れに起因するトラブルが増えた
- 物をさがしていることが多くなった
- 降りる駅を間違えるようになった
- 服の組み合わせがおかしくなった
- 家族との会話の中の意味を取り違えて険悪になった
- お金を無計画に使うようになった

#### 《うつや体調不良ととられがちな症状》

- 夜眠れない
- やる気が出ない
- 自信がない
- 運転が慎重になった
- 趣味への関心がうすれた
- 頭痛、耳鳴り、めまいがする
- イライラする
- 考えがまとまらない

## 【若年性認知症と診断を受けた後の生活を支える社会制度】

自立支援医療 (精神通院医療)	認知症で通院治療している場合、医療機関や薬局の窓口で支払う医療費の自己負担が1割に軽減されます。詳しくは、通院中の医療機関にお尋ねください。
傷病手当金	全国健康保険協会(協会けんぽ)又は、「健康保険組合」に加入している事業所にお勤めの方が、病気や業務以外のけが等で仕事を休み、給料を受けられないときに、その間の生活の保障を行うことを目的として設けられている制度です。
精神障がい者 保健福祉手帳	初診日から6か月経過すれば申請できます。
身体障がい者手帳	脳血管性認知症などで身体障がいがあれば、障がいが固定あるいは6か月以上継続した場合に申請できます。手帳に関しては築上町福祉課社会福祉係でお尋ねください。
障がい年金	病気やけがで仕事を続けることが困難となった人やその家族の生活を支えるための公的年金です。加入中の年金で相談や請求窓口が異なります。国民年金は築上町住民課保険係、共済年金保険は各共済組合、厚生年金保険は年金事務所へお尋ねください。

## 【若年性認知症の相談窓口】

- \* 築上町地域包括支援センター(福祉課 地域包括支援係) ☎52-0001(内線 144・145)
- \* 福岡県若年性認知症サポートセンター ☎092-574-0196  
(火～土曜日 10時～16時)  
面談は要予約、面談を希望する場合は、事前に電話にてご連絡ください
- \* 若年性認知症コールセンター(通話無料) ☎0800-100-2707  
(月～土曜日 10時～15時) 年末年始・祝日を除く  
ホームページ: <http://y-ninchisyotel.net/>



# 1. 認知症とは

## ◆認知症の症状

認知症の症状を引き起こす疾患には様々なものがあり、疾患によって出現しやすい症状が異なります。また、認知症につながる主な疾患としては、アルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症・脳血管性認知症・前頭側頭型認知症、その他として治療可能な認知症（正常圧水頭症・慢性硬膜下血腫など）が代表的です。

## ◆認知症を引き起こす主な 4 つの疾患

疾患名	特徴	症状
アルツハイマー型認知症	もの忘れから気づくことが多く、日常生活で出来たことが少しずつ出来なくなります。新しいことが記憶できない、思い出せない、時間や場所がわからなくなることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し前のことを忘れる</li> <li>・同じことを何度も言う</li> <li>・帰り道がわからなくなる</li> <li>・同じものを何度も買って来る等</li> </ul>
レビー小体型認知症	レビー小体と呼ばれる異常なたんぱく質の塊が脳内の神経細胞にたまる病気。初期はもの忘れよりも本格的な幻視が見られることが特徴です	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にはいない人が見える幻視</li> <li>・夜間に寝ぼけて大声を出す</li> <li>・手足の動きが鈍くなる</li> <li>・日によって症状が変動する等</li> </ul>
脳血管性認知症	脳梗塞や脳出血などによって発症する認知症。脳の場所や障がいの程度によって、症状が異なります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的に能力が低下する「まだら認知症」</li> <li>・若い時のことは覚えている</li> <li>・良い時悪い時が階段状に進む</li> <li>・急に泣いたり怒ったりする等</li> </ul>
前頭側頭型認知症	前頭葉と側頭葉の萎縮が徐々に進行する病気です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ行動を繰り返す</li> <li>・言葉の意味がわからなくなる等</li> </ul>

## ◆加齢に伴うもの忘れと、認知症によるもの忘れの違い

年齢を重ねると、例えば「印鑑をどこにしまったか忘れる」「晩御飯のメニューが何だったかを忘れる」など年相応のもの忘れが見られます。認知症によるもの忘れとは、体験そのものを覚えていないため「晩御飯を食べたこと」自体を覚えていないことです。

加齢に伴うもの忘れ	認知症によるもの忘れ
もの忘れを自覚している	もの忘れの自覚がない
体験したことの一部を忘れていない	体験したこと自体を忘れる
ヒントがあれば思い出す	ヒントがあっても思い出せない
日常生活に支障はない	日常生活に支障がある
判断力は低下しない	判断力が低下する